

# ミコトツキ

韓国のトキについて

第17回



韓国では、日本と同じように野生のトキは絶滅しました。現在、野生のトキはいませんが、中国から贈られたトキを飼育していて、野生復帰させる計画があります。

東アジア一帯に生息していたトキは同一種であり、日本で飼育し放鳥しているトキも、韓国で飼育しているトキも、中国で再発見された7羽のトキの子孫です。韓国でも、中国で生息していたトキを使って野生復帰させようとしているのです。

おたずね／出雲市  
トキ分散飼育センター ☎ 1350

日本や韓国にいたトキも、中国にいるトキも、それぞれほとんど同じ遺伝子を持っていることが、2000年の早稲田大学の研究でわかっていきます。このことから考えると、トキは日本と韓国、そして中国を移動していた可能性もあります。

今回は、飼育下の繁殖状況について紹介します。

【マツカレハ幼虫】  
ガの幼虫(毛虫)で大量に松葉を食害します



\*5~6月によく見られマユを作り、やがて蛹さなぎになりガになります。

【マツノキハバチ幼虫】  
(マツノミドリハバチ)  
松葉を大量に食害するハチの幼虫です



\*4~6月頃と9~10月頃に見られるものがあります。  
\*マツカレハ幼虫と同様に群生しますので発見しやすいです。

【粉カイガラ虫】  
白い粉状の虫が付き樹勢が低下します



\*4~5月に発生しますが、年中見られます。  
\*すす病を併発したり、樹勢が低下します。

【マツノマダラカミキリ】  
松くい虫の原因になる線虫を媒介します



\*4~9月に小枝に見られます。  
\*マツノザイセンチュウを媒介し松を完全に枯らします。

樹木のドクター

Vol.11



松の害虫にご注意ください

## 樹医からのアドバイス

まだほかにもいろいろと害虫は見られます。このような虫を発見し、お困りでしたらご相談ください。

(出雲市樹医 西尾光弘)

おたずね／出雲市樹医センター ☎22-6497